

・形代流し・曲水の宴(7月下旬)

(さぬき市)

■ (かたしろながし)・(きよくすいのうたげ) 7月31日 宇佐神社



形代流しの神事は、宇佐神社の氏子が昭和54年に復活させたものです。形代という自分の身代わりとなる紙の人形(ひとがた)に、名前や年齢を書いて3回息を吹きかけ、水に浮かべ川へ流すことで、罪やけがれと一緒に流してしまおうという大祓(おおはらい)の行事です。曲水の宴は5人の歌人(うたびと)が短冊に一首ずつ歌をしたため、それを神前に献歌し、吟詠にて披露するという、平安時代にさかのぼる古い歴史と伝統を伝える行事です。